

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 28 年度第 1 回高松市放課後子ども総合プラン運営委員会
開催日時	平成 28 年 8 月 25 日(木) 10 時 00 分～11 時 30 分
開催場所	高松市役所 3 階 32 会議室
議 題	(1) 放課後子ども総合プランについて (2) 平成 28 年度放課後子ども総合プランの現状と今後の課題について ・放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）について ・放課後子ども教室推進事業について ・放課後児童クラブ・放課後子ども教室一体型について (3) (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	石原委員、鴨委員、清國委員、長町委員、那須委員、早谷川委員、東原委員、前田委員 計 8 人
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課及び連絡先	子育て支援課放課後支援係 839-2354

会議の経過及び結果
<p>会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。</p> <p>○議題</p> <p>(1) 放課後子ども総合プランについて 放課後子ども総合プランについて、事務局から報告。</p> <p>(2) 平成 28 年度放課後子ども総合プランの現状と今後の課題について 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）及び放課後子ども教室推進事業、放課後児童クラブ・放課後子ども教室一体型の現状と今後の課題について、事務局から説明し、以下のとおり意見があった。</p> <p>(委員) 放課後児童クラブと放課後子ども教室が一体型で実施していくにあたって協議会の設置が必要とされているが、この協議会を運営していく上で子育て支援課は話し合いの場に参加するのか。</p> <p>(事務局) 子育て支援課が協議会の構成員として参加するということは今のところ考えていない。しかし、協議会を設置する前段階の話し合いに参加することで、こういった運営方針で進めていき、どなたに構成員になっていただくかといった内容については一緒に協議していく予定である。また、定期的に状況をお聞きし、運営していく中で困ったことや疑問点があれば、現場の方々と相談しながら解決していけるような体制を整えるようにしている。</p>

(委員)

放課後児童クラブの設置状況の説明の中で、今年度から学校内の余裕教室を活用して運営していく校区が増えたということであったが、学校内施設の利用にあたっては特別に学校への働きかけをしているのか。

(事務局)

放課後児童クラブは学校敷地内での設置を第一に考えており、教育局と相談しながら進めている。

(委員)

放課後子ども教室関係者へのアンケート調査から、現場は一体型に向けて消極的な面が伺える。子育て支援課が考えている協議会設置までのスケジュールがあると思うが、放課後子ども教室は地域が主体で実施しているのに対し、放課後児童クラブは行政が主体で実施しているという違いもあって、その両者を無理に繋げようとするのは難しいのではないか。

(事務局)

放課後子ども教室は、地域の方のお力をお借りして実施しており、放課後児童クラブとその点では異なっているが、同じ学校の子どもを見るという点で繋がる部分があり、実施場所も同じ小学校内ということであれば、一体型で運営していくことは無理なことではないと考えている。

(委員)

このアンケートを回答するにあたって、実際に現状が分かった上での回答なのか、それとも実情を知らずにイメージだけで回答しているものなのか。それによって一体型実施への考え方は変わってくるのではないか。

(事務局)

放課後児童クラブ・放課後子ども教室の関係者同士で情報共有しているかどうかは校区によって様々である。校区によっては、お互いのことを全く知らないというところもあると思われるが、子育て支援課が支援しなくても協力的に動いてくれている校区もあり、一概には言えないところがある。確かに、イメージだけで一体型は出来ない、無理だと考えている場合もあるので、お互いの活動を知ることから始めていただけたらと考えている。

(委員)

国の制度的に、一体型と協議会の設置がセットになって考えられているが、実際、協議会は連絡会のようなものなので、一旦、現在自分の校区はどういう状況なのかを把握してもらい、そこから段階的に協議会設置まで進めていくことが必要なのではないか。

(委員)

放課後児童クラブにも放課後子ども教室にも運営委員会があるのであれば、それを一本化して協議会とし、総括して両事業のことをみるようにすればよいのではないか。

(事務局)

それぞれの運営委員会の委員の役割として、一体型を進めていく上で重なる部分はあると思われるが、その一方、放課後児童クラブは入会児童の決定、放課後子ども教室は地域の中での人や場所の調整といった専門性のある内容が含まれてくるので、すべてを一本化するのは難しいのではないかと思われる。

(委員)

校区によっては登録児童数が多いので、すべてが前田校区と同じように出来るとは限らないが、最初から出来ないというのではなく、自分の校区であれば何が出来るかという姿勢で取り組んでいかなければいけない問題だと感じている。ただ、保護者が両事業の違いを把握していない可能性があるため、その理解をしてもらうことも必要だと考えている。

(委員)

放課後児童クラブは待機児童解消のためかなり多くの子どもを受け入れてい

るということもあり、子どもたちはなかなか息抜きができていないように感じる。そういった面からいうと、放課後子ども教室は子どもたちにとっての息抜きの場になっていると思う。

(委員)

子育て支援課と教育委員会が連携を強めていかないと、現場が混乱することになる。どちらも子どもあつての組織であるということをよく認識してもらいたい。

(事務局)

協議会の設置は制度上求められているものであるが、子どもを第一に考え、現場とも連携をしながらよりよい環境になるよう進めていきたいと考えている。

(3) その他

その他、委員から特に意見はなく、以上をもって、本日の会議を終了することとした。

以 上